



# いしかわ労福協

第657/658号 2022年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会

発行責任者 福田 佳央

編集人 上野 貞彦

〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号

電話 (076) 231-1737

FAX (076) 231-1731

<https://www.ishikawa-rofukukyo.jp>

info@ishikawa-rofukukyo.jp

毎月1回 25日発行

## 2023年度「自治体政策制度の要請」

労福協は、事業団体連絡会議での立案から第4回理事会決定をもって作成した「2023(令和5)年度 石川県及び市町の施策に対する要請書」により、県内19市町に対し要請を進めてきている。

9月29日(木)、石川県地場産業振興センターにおいて、県内各自治体の担当者を対象にした「事務担当者会議」を開催し、要請内容の説明を行った。また、連合石川地方議員団の議員に対しても同要請内容の説明を同会場において行い、事前周知をしたほか、各自治体首長訪問時の対応を依頼した。

この説明会を経て、10月19日(水)に河北3市町、翌20日(木)に野々市市以南の6市町、24日(月)から25日(火)にかけて宝達志水町以北の9市町、それぞれの庁舎を訪問し要請書を手交し、改めて要請概要を説明しつつ要請への理解と協力を求めた。

11月15日(火)には、村山卓金沢市長を訪ねて、多様な働き方を実現しつつ地域の課題に取り組む「労働者協同組合法」の浸透、大規模自然災害等被災者支援や防災・減災の強化、安心・信頼できる社会保障の構築など労働者のみならず地域住民の福祉の向上への取り組みなどが盛り込まれた要請書を手交して、内容の実現に向けた要請とした。

今回までの要請行動において、11月28日(月)の石川県知事への要請を残すのみとなった。



〔村山卓金沢市長〕



〔宮橋勝栄小松市長〕



〔山田憲昭白山市長〕



〔油野和一郎かほく市長〕



〔粟貫章野々市市長〕



〔番匠啓介能美市副市長〕



〔田西秀司川北町副町長〕



〔大岩慎一宝達志水町副町長〕



〔加賀市山田圭一部長〕



〔七尾市新野学部長〕



〔羽咋市山本裕一部長〕



〔輪島市中前豊部長〕



〔内灘町上出勝浩部長〕



〔珠洲市高林義信課長〕



〔志賀町池端久幸参事〕



〔能登町下谷内哲次課長補佐〕



〔津幡町本多延吉課長〕



〔中能登町山本貴課長〕



〔穴水町中瀬寿人課長〕

## 第5回理事会

11月10日(木)、フレンドパーク石川において労福協第5回理事会が役員15名で開催された。

冒頭、福田佳央理事長が、「政府は、総合経済対策において賃上げのほか雇用の流動性を促す政策を閣議決定しており、働く人にどのような影響があるか今後の動向を注視していかなければならない。また、年明けの新春の集いの開催についてはウィズコロナの対応として出来れば元の形での開催としたい。さらに、労福協の改革については三役会議を軸に課題の具体的な

方向性を検討し2年後の実現に向けて短中期のセグメントで進めていきたい。」と挨拶した。

前回理事会以降の取り組み報告について、渡邊雅人専務理事が報告したのち、各会員からの報告がされ、それぞれ確認された。

次いで、来年度に向けた自治体要請における石川県知事及び金沢市長への要請日程、自主福祉運動推進会議の実施について、提案どおり承認した。また、中間会計決算・監査報告についても承認されたほか、1月5日(木)開催の2023新春の集いまでの各種取り組みについても承認し、理事会を終えた。

## 第52回石川県消費者大会を開催



11月2日(水)、石川県地場産業振興センターにて、第52回石川県消費者大会が開催された。総数73名、うちWEB参加11名となり、始めに実行委員長の浅田晋一の開催挨拶、続けて来賓の石川県生活安全課参事の中出勤子氏から挨拶があった。大会テーマは「衣類ロスを考える・ファッションの在り方」、講師に株式会社朝日新聞社・デジタル機動報道部次長の仲村和代氏を迎え、県内団体取り組み報告は、制服リユース NPO 制服バンク石川リクル代表 池下奈美氏、小松マテーレ労働組合執行委員長 曾根達也氏の2名で行われた。仲村氏はZOOMによる東京からのWEB講演で「ファッションと大量廃棄社会 ～私たちにできること～」を題材に「SDGsの中でも消費者が興味を持つ、食品ロスは注目されがちだが、あまり衣類ロスは注目されていない。衣類ロスも大切な問題ではないか。日本で1年に廃棄される新品の服が10億着ある。それは何故起きるのか。単価が安くなっているのは海外で作った服で、人件費が安いことが影響。昔は中国で生産されていたもの

が、更にバングラデシュに移行し、人件費の安い国に移行することで大量生産が発生する。単価が安くなる前提で大量注文が求められ、コストを重視すると高価格×少量よりも低価格×大量の方が安いいため、メーカーは後者を選択し、大量生産や大量廃棄が発生する。安い製品には低賃金・劣悪の労働条件がともなう。消費者としてこれから何ができるのか。良いものを『安く』ではなく『適正な価格』で購入することが大切」と話された。また県内団体取り組み報告では、制服を活用した3Rで広がる「おさがりの輪」を題材に池下氏の報告があり、リクルは古い制服を引き取り手直しし、欲しい方に安価で提供する事業概要の説明があり「生活困窮家庭に制服を無償で提供する。ボランティアも行っている」と報告があった。続いて「未来のための取組み～小松マテーレ～」を題材に曾根氏の報告があり、小松マテーレの会社概要と「糸一本から環境に配慮したものを作ろうと開発した。染色では100kgのものを染めようと思うと2000Lの水、20kgの染料を使って2時間から3時間行う必要がある。少しでも早くできないかと新技術を開発し、それは染料の使用量を2割、染色の時間を5割カットしたもので、これにより廃水の量、CO<sub>2</sub>を削減できた。」と報告があった。参加者アンケートの結果は、総じて好評であり「衣類ロスの取り組みはSDGsの目標はもとより、物を大切に考える考え方に大変共感しました」などの意見があった。

第20回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会を開催



石川労福協ライフ・サポートセンター主催の、第20回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会が、10月31日(月)、金沢市民芸術村「大和町広場」で開催された。

今年の大会も昨年に引き続き、コロナ禍での開催となり、対策に万全を期し、各地域LSCからそれぞれ選抜された精鋭202名と石川県障害者スポーツ協会選抜の19名を含む総勢221名(昨年比41名の増加)が参加し行われた。

大会当日は、秋晴れの絶好の開催日和となり、健常者と障害者が、分け隔てなく真剣なプレーのなかにも和気あいあいと競技が行われた。

次回大会以降も、より多くの参加者が集う大会として開催していく予定である。

大会結果については、以下の通りです。

<団体戦>

- 優勝 河北地域 LSC A チーム 301 点 (年齢上位)
- 準優勝 河北地域 LSC B チーム 301 点
- 3位 羽咋地域 LSC A チーム 314 点

- 4位 珠洲能登地域 LSC B チーム 315 点
  - 5位 加賀地域 LSC C チーム 316 点
- <個人の部>

◆男子の部

- 優勝 竹中 外茂次(河北 LSC) 70 点
- 準優勝 勝井 實千男(輪島穴水 LSC) 71 点 (年齢上位)
- 3位 川本 正明(河北 LSC) 71 点
- 4位 白井 康雄(羽咋 LSC) 72 点 (年齢上位)
- 5位 笠谷 博(河北 LSC) 72 点

◆女子の部

- 優勝 新谷 正子(金沢 LSC) 76 点 (年齢上位)
- 準優勝 脇田 光枝(加賀 LSC) 76 点
- 3位 水上 由紀子(加賀 LSC) 77 点 (年齢上位)
- 4位 山田 恵美子(輪島穴水 LSC) 77 点
- 5位 西村 春子(県障害者スポーツ) 78 点 (年齢上位)

これからの行事予定

(11月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
11月26日	土	第4回自主福祉運動推進会議(研修会)	フレンドパーク石川+ Web
28日	月	「福祉なんでも相談窓口」アドバイザー会議	フレンドパーク石川
〃	〃	石川県知事要請	石川県庁
12月2日	金	ライフ・サポートセンター事務担当者研修会	フレンドパーク石川
4日	日	女性のための無料相談会	金沢勤労者プラザ
9日	金	労福協第5回三役会議	フレンドパーク石川
13日	火	連合石川・労福協・北陸労働金庫連絡会議	北陸労働金庫本店
15日	木	労福協第6回理事会	ANA ホリディイン金沢スカイ
17日	土	第72回勤労者美術展受付(～18日)	フレンドパーク石川
21日	水	第72回勤労者美術展開会式	金沢21世紀美術館
25日	日	第72回勤労者美術展表彰式	〃

## 親子いも掘り体験会



労福協・子育てネットとライフ・サポートセンターは、10月15日(土)、金沢市粟崎の五郎島地区において、「親子いも掘り体験会」を開催した。コロナ禍ではあったが、体験会には、30

名の親子が参加し、福田佳央労福協理事長の「今日は絶好のいも掘り日和になり、土に接して親子で触れ合いつつ、大いに楽しんでいただきたい。」と挨拶がされた。

続いて、今年も丹精込めていもを育ててきた生産者の忠村氏・沖村氏から「いも掘りの手順」が説明され、早速、大きく実った五郎島金時芋を掘り出した。

参加した親子は、土から顔を出した大きな金時芋を丁寧に掘り出し、掘りたてのいもを手記に記念写真を撮る家族など、それぞれにいも掘りを楽しみつつ、昨年よりも

たくさんの大きないもが瞬く間に掘り出された。

帰りには親子で掘り出した五郎島金時芋をお土産として持ち、親子体験会を無事に終えた。

## 勤労者体育協会報告

《第56回 県勤労者秋季体育大会 第24回サイアーランニング大会》  
10月2日・犀川河川敷

◇混合 240歳以上  
①スタークラブ ②ゆめまる  
③米丸トゥインクル

《第56回 県勤労者秋季体育大会 第25回勤労者グラウンド・ゴルフ大会》  
10月9日・かほく市高松グラウンド・ゴルフ場

◇女子  
①新神田 SVC ②チームつばた  
③あみゆーず

◇男子

①ヒロシ&フレンズ ②津幡ファイブ  
③珠洲まるかじり

◇女子

①かしましレディース ②志賀レディース  
③とらうレディース

《第56回 県勤労者秋季ソフトボール県決勝大会》  
10月16日・金沢市宮専光寺ソフトボール場  
①ランドアーク ②夢や

《第56回 県勤労者秋季体育大会 第22回勤労者クライミング大会》  
11月6日・医王山スポーツセンター

◇男子ゴールド

①井上 正 ②亀田 行宣 ③加賀谷 堅史郎

◇男子オープン

①富樫 旺二郎

《第56回 県勤労者秋季体育大会 第25回ソフトバレーボール津幡大会》  
10月30日・津幡運動公園体育館

◇混合フリー

①スカイホークス ②イーストパープル  
③TSUNAMI

◇混合 160歳以上

①K-RED ②City 8 ③すまいる

◇混合 200歳以上

①A-FOUR ②EASYZ ③だいとく

《第56回 県勤労者秋季体育大会 卓球七尾大会》  
11月13日・七尾城山体育館

◇硬式男子

①OVER LIGHT ②トランテックス A  
③S-55A ③サラリーマン

◇硬式女子

①松平スポーツ ②福ちゃん  
③トランテックス

◇ラージ男子

①档の会 A ②トランテックス  
③白山クラブ A ③かほく市卓球協会

◇ラージ女子

①白山クラブ ②コンテンツ  
③ななおクラブ A ③チームかがやき

## 金沢LSC「チャリティゴルフ」

10月21日(金)、金沢カントリー倶楽部(かほく市)にて親睦チャリティゴルフ大会を参加者32名で開催した。

競技の結果、中スタートは山口保博氏、東スタートは田中雄一氏が優勝した。

また、参加者から寄せられたチャリティ募金33,000円は、後日福祉施設等に寄付する予定である。



結果は以下の通り

中スタート→西

優 勝	山口	保博	(NET 73.80)
準優勝	大形	彗男	(NET 74.00)
第3位	奥村	裕二	(NET 74.40)
ベストグロ賞	八坂	繁良	(スコア 84)

東スタート→中

優 勝	田中	雄一	(NET 72.60)
準優勝	野村	昇司	(NET 73.80)
第3位	的場	達也	(NET 74.40)
ベストグロ賞	的場	達也	(スコア 84)

金沢地域LSC 事務局長 宮坂 信詞



## 第20回加賀地域LSC交流グラウンド・ゴルフ大会

日時：2022年10月14日(金)

場所：いきいきランドかが

参加者：26名

今年で第20回となる加賀地域LSC交流グラウンドゴルフ大会が、いきいきランドかがで26名の参加者を集めて行われました。

受付時には、手指消毒・検温・マスクの確認を行い、ソーシャルディスタンスを保ちながら開会式を行いました。

開会式では、労金大聖寺支店・村田光繁支店長とろうきん友の会・角井信則会長のあいさつに続き、小村邦夫さんによるルール説明後、競技開始となりました。

当日は晴天に恵まれ、時折り気もちの良い秋風が吹き、参加者たちは和気あいあいのうちに競技を終了する事が出来ました。競技終了後、成績発表で名前の呼ばれた受賞者に、賞品を手渡し終了となりました。また、選考会で選出された上位の皆さんで10月31日金沢市芸術村にて行われる中央大会に挑みます。

今回集められた募金は、来年3月に加賀市に

寄附し、児童福祉事業に充てられます。

成績は次の通り

男性の部	女性の部
1位 表 征志	1位 小村 留美子
2位 高見 繁	2位 表 和枝
3位 荒木 喜久次	3位 水上 由紀子
4位 小村 邦夫	
5位 松下 一志	

加賀地域LSC 事務局長 御館 啓太



「もしも」に備え  
「もしも」を防ぎ  
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、  
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター  
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 **〈全労済〉**  
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

ろうきんアプリのご利用で!  
ろうきん口座をご利用でのスマホ決済で!  
**抽選で3ヵ月ごとに150名様に  
現金1,000円が当たる!**  
キャンペーン期間中の当選はお一人様1回限りいたします。

- 1 ろうきんアプリ**  
スマホにインストールしてご利用登録されると、1口の抽選権利GET!
- 2 ろうきんダイレクト**  
ご契約し、ログインして1口の抽選権利GET!
- 3 Webお知らせ**  
お申込み頂くと1口の抽選権利GET!
- 4 通帳レス口座**  
新規開設または、切替されると、1口の抽選権利GET!
- 5 スマホ決済サービス**  
1回のチャージもしくはご利用毎に、1口の抽選権利GET!
- 6 ジェイデビット J-Debit**  
1回のご利用毎に1口の抽選権利GET!

キャンペーン期間  
**2022年4月1日～2023年3月31日**

ろうきんアプリで、いつでもどこでも、手軽にろうきん

# ろうきんスマートライフキャンペーン

期間中、上記の6つの対象商品・サービスをご利用いただいた方にうれしいチャンス!  
①～⑥の対象商品・サービス毎に1口の抽選権利が得られます! 自動エントリーなので応募は不要です!

詳しくはろうきんホームページで